

いま考える防災のすすめ

備えていますか？



防災ハンドブック
「あおりおまもり手帳」
公式マスコットキャラクター
「おまもりス」

甚大な被害をもたらし、東日本大震災から10年。あの日のことを風化させず、教訓を活かすために今一度しっかりと災害の恐ろしさを再認識し、大切な命を守るための備えをしておくことが必要です。あらためて災害に対する心構えを持ちましょう。



BOSA/ 1

2011.3.11から10年

私たちはあの日を 忘れない



地震の概要
【発生場所】三陸沖(北緯 38.1度、東経 142.5度)深さ24km
【規模】マグニチュード9.0
【県内最大震度】震度5強
(八戸市、東北町、おいらせ町、東通村、五戸町、階上町)
【津波の高さ】八戸4.2m以上(観測値)
●県内被害状況
【人的被害】死者3人、行方不明者1人、負傷者95人
【住家被害】全壊308棟、半壊701棟、一部破損1,005棟
【最大避難者数】24,132名

道路中央に乗り上げた漁船(2011年3月13日撮影/八戸市)個人提供

2011年3月11日。東日本大震災が発生しました。震災直後は電気が止まり、食事や買い物などの日常生活を送ることが困難になりました。また、各地の建物も全壊・半壊し、復旧までに時間を要しました。

県内の復興のあゆみ

復旧・整備された施設

・漁港内施設(三沢市)



・大蛇県道付近(階上町)



・第三魚市場(八戸市)



・八太郎1号埠頭付近道路(八戸市)



災害に強い地域を目指して整備された施設

・蕪島休憩所(八戸市)



・八戸市津波防災センター(八戸市)



・明神山防災タワー(おいらせ町)



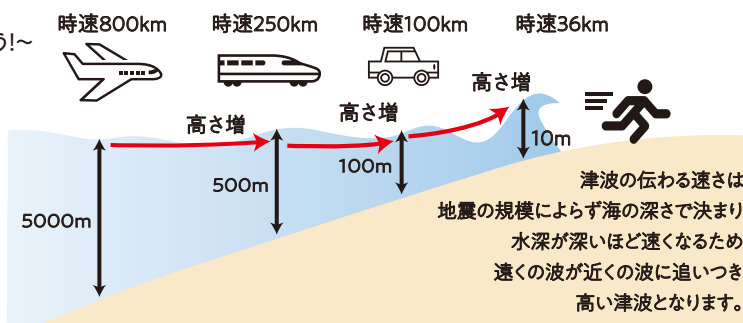
・大蛇さざ波歩道橋(階上町)



防災コラム

津波に注意! ~地震が来たらすぐ逃げよう!~

津波はとても速いので、津波を見てから逃げたのでは間に合いません。急いで「より遠く、高いところ」を目指して、原則、徒歩で避難を。また、日頃から住まいの近くの「津波の指定緊急避難場所」を確認して、いざという時の行動を家族で話し合っておきましょう。



津波の伝わる速さは地震の規模によらず海の深さで決まり水深が深いほど速くなるため速くの波が近くの波に追いつき高い津波となります。